

令和3年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 会 議 議 事 録

日時：令和4年3月22日（火）
午後1時30分から2時30まで
場所：飛島村役場 2階 第3会議室

○司会：早川課長

定刻になりましたので、ただいまから、令和3年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。わたくしは、事務局を務めさせていただきます、企画課長の早川と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、当 法定協議会 会長であります 飛島村長から、あいさつを申し上げます。

1. あいさつ

○加藤村長挨拶

こんにちは。本日はご多用のところ飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席いただき厚く御礼申し上げます。

日頃は、地域公共交通事業の推進におきまして格別のご指導、ご鞭撻いただき、感謝申し上げます。

本日は、利用実績と令和4年度の事業計画案についてご審議いただく予定です。

皆様の専門的なご指導とご鞭撻を頂きたいと考えます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○司会：早川課長

ありがとうございました。

資料の確認をさせていただきます。今回は、資料の発送が遅れまして申し訳ございません。たことお詫び申し上げます。お手元に配布させていただきました次第の下段に配布資料の一覧がございます。よろしいでしょうか。

また、協議会設置要綱に定める通り本会議は会議録を作成し、公開させていただきます。

本日の出席者数については、委員の過半数の出席をしていただいておりますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしています。

それでは、会議の進行は要綱の規定に基づき、座長の伊豆原様にお願いします。

○伊豆原座長

伊豆原と申します。よろしくお願いいたします。

コロナ感染症について蔓延防止策の自粛要請が止められました。ただ、まだ感染者数が見られます。そうした中での公共交通について議論させていただきます。

忌憚のない意見を頂戴して、次のステップに進められればと思います。

議事に入る前に、はじめに議事録署名人を選任させていただきます。議事録署名人として、三重交通株式会社桑名営業所の黒佳剛様と愛知県バス協会の小林裕之様をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について

○伊豆原座長

それでは報告事項に入ります。報告事項1について、報告をお願いします。

○事務局（荒尾主事）

資料説明

○伊豆原座長

利用実績についてご説明がありました。ご質問ご意見ありますでしょうか。

海南病院通院支援タクシーだけ、かなり減少している。名港線は企業従業員なので維持水準、蟹江線はかなり増加。海南病院だけは、病院利用を控えているということでしょうか。

○事務局

海南病院は通院だけでなくお見舞い利用もあると思われます。コロナ禍において病院側も制限されており、その影響だと思います。

○伊豆原座長

名港線については、何かりモート勤務などの形態による影響でしょうか。

○佐治委員代理 名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会

かなり在宅勤務者が多いと思います。

○伊豆原座長

臨海部の勤務形態の影響に起因していると思います。

これについて確認させていただいたとして次に進めてよろしいか。

特にご意見ありませんので確認いただいたとして次の議事に移ります。

3. 議事

●議案第1号 令和4年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 事業計画（案）及び収支予算（案）について

○伊豆原座長

次に議事に入ります。議案第1号『令和4年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について』事務局からの説明をお願いします。

○事務局（荒尾主事）

資料説明

○伊豆原座長

ありがとうございました。来年度の事業計画と予算案です。

○木下委員代理 中部運輸局愛知運輸支局

資料2に、地域間幹線系統補助を活用し運行する予定とありますが、公共交通計画がないと補助を受けられない。今は経過措置中で、令和6年10月1日以降は、交通計画が必要となります。名古屋市、蟹江町では、交通会議、交通計画がありません。

第3者評価委員会では、愛知県全体で計画を策定すると報告がありました。その点はHPで公開し、共有させていただきます。

予算について、運行予算部分は減額になっている。現状、交通事業については人件費と燃料費の上昇が求められているが、当該予算について三重交通は了解されているか。

○事務局

1点目、交通計画については承知しております。

2点目の予算の減額は運行経費ではありません。三重交通様から見積りを頂戴し、適切に運行事業費を計上しています。この減額部分は、昨年度はICカードリーダーの導入費用が含まれており、今年度はその分の事業費がないため、その差額と理解していただきたい。

○平野委員代理 愛知県交通対策課

本年度3月末に、愛知県交通ビジョンを作成したばかり。交通計画については、来年度から検討を行う予定です。

交通ビジョンが上位の方向性を示すもので、具体的なものが交通計画になると思います。来年度作成のための検討を行います。

○伊豆原座長

地域間幹線系統とは、県にて指定される路線です。複数の自治体を跨いで運行される路線を指します。名古屋市、蟹江町を通過するので、地域間幹線系統になります。

愛知運輸支局から説明されたように、補助金と交通計画が連動するものになり、国の事業年度の6年度から移行する。令和6年9月末までに計画がないといけないということです。

愛知県にて進めていただき、名古屋市、蟹江町にもご理解をお願いします。

事業計画、予算についてご意見ご質問、その他ありますか。

○木下委員代理 中部運輸局愛知運輸支局

コロナの影響について、定期外収入を見ています。一昨年度との比較で25%減。前年比較でも、回復しつつも厳しいという印象です。

○伊豆原座長

蟹江線は増便して住民利用者の利便性を高めました。そのあたりの利用状況について声を聞いていたら教えてください。

○事務局

蟹江線の早朝便について増便しました。利用状況としては便当たり3人を下回る厳しい状況です。学生の部活のため利用をしたいという保護者からの要望にお応えしたものでした。

○伊豆原座長

部活についてはコロナで制限されている状況だと思います。コロナが収束すれば、部活の再開があり、利用が戻ってくるのではないかと思います。

こうした早朝便の設定で、クラブ活動の参加、選択ができていることも住民に知ってもらいたいことだと思います。イベントも重要ですが、日常のこうした取り組みも PR していくべきことだと思います。

バスロケもスマホでチェックできることなので、イベントの時に体験してもらうこともやったら良いのではないのでしょうか。いろいろ工夫できることがあり、取組を是非お願いしたい。

○木下委員代理 中部運輸局愛知運輸支局

バスロケについて伺いたい。これは多言語対応されていますか。バス停の位置変更は多言語でされていますが。

○事務局

バスロケは、多言語対応しておりません。

○木下委員代理 中部運輸局愛知運輸支局

多言語の検討もしていただけたらと思います。

○伊豆原座長

外国人の勤務、従業員の方もいるかと思いますが。多言語については検討いただけると良いかもしれません。

その他よろしいでしょうか。

議案第1号についてよろしいでしょうか。ご異議無いようなので、全員の承認をいただいたとします。

4. その他

○伊豆原座長

以上で、予定されていた議事は終了しましたが、最後に『4. その他』として、事務局から何かあれば願います。

○事務局

本日は特にありません。

○伊豆原座長

あまりこうした機会はありません。どなたでもご意見を願います。

○村上委員 飛島村区長会長

素人目線での発言です。バスの利用者が減っていったら廃止ということがあるのでしょうか。

○伊豆原座長

利用者が減ってしまったら廃止も考えなければいけないと思います。

○村上委員 飛島村区長会長

飛島村も高齢者が多く、自動車の免許証を返納することが考えられます。高齢者の為にバス事業の維持は必要だと思います。

○加藤会長 飛島村長

飛島バスの廃止はありません。よほどの状況の変化が無い限り継続します。

飛島バスの利用者は増えてきていました。最近ではコロナ禍で減少しましたが、この状況が過ぎれば、また増えると予測しています。

また、外国人技能実習生が飛島村にはいます。コロナで今は来ていないが、以前は休日に技能実習生がバスを使っていた状況もあったように感じます。

バスだけでなく、タクシーの利活用を検討して、高齢者の外出支援を進めていきます。令和4年度も拡充を検討したいと思っています。

○伊豆原座長

他にありますでしょうか。

利用者の変動について、飛島村の人口は4,700人、蟹江線の利用者が年間約14万人です。私が住んでいる尾張旭市の人口は82,000人で、年間利用者は約25万人です。人口の約3倍です。飛島村の状況は名港線もあり人口比ではかなり高く、すごい状況にあります。

事業最初の頃と比べるとかなり増えていますので、たいへんありがたい状況にある。こんなに本数の多い充実した事業は、他ではありません。大変すばらしい事業だと思います。そうした状況を理解していただければと思います。

○佐治委員代理 名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会

臨海部と名古屋駅をつなぐバス事業の検討を進めて欲しいと考えています。高校生の通学の範囲が広がればとも思います。

○伊豆原座長

港区の高校の選択ができるようなバス運行でしょうか。三重交通のご理解も必要かと思いません。

○小黒委員 三重交通桑名営業所

利用実績報告を聞き、令和元年度と比較すると、飛島村の実績より我々の事業はもっと悪いものです。3割減少の状況になっています。それと比べるとかなり回復されていると思います。

リモート、時差出勤、勤務方法を変えられるということがあり、交通利用がどれだけ回復するのか、気にしています。是非利用をお願いしたい。

○多田委員 名古屋タクシー協会

ナゴヤのタクシーの現状をお話しします。コロナが拡大する令和元年の3、4月は、売上が

3割程度でした。

国の雇用調整助成金を活用して、雇用継続をしていましたが、最近の状況は運転手の減少が進んでいます。運転手確保が喫緊の課題です。若い人にとって魅力ある職場として考えるために、配車アプリの導入など進めています。情報提供しながら、タクシーの利便性を広報していきたい。

従業員の確保をしていきたい、女性ドライバーの確保も。労務倒産する事業者が増えてくる可能性があり、移動手段の確保をなんとか進めていきたいと考えています。

○小林委員 愛知県バス協会

交通事業者において感染防止対策を徹底して行ってもらっています。マスク着用で利用いただければ、これまでにバスではクラスターの発生事案はありません。

バス事業には、貸切バスという方法もあり、従業員送迎などを行っている事例もあります。交通事業について厳しい状況は変わらないため、利用、支援をお願いしたい。

○木下委員代理 中部運輸局愛知運輸支局

支援について補足したい。感染対策の補助金を用意しています。事業者から来年4年度の補助申請を受け付けているところです。積極的に活用をお願いしたい。

○伊豆原座長

ご参加された委員からご発言をいただきました。

それでは進行を事務局にお返しします。

○早川課長：司会

伊豆原先生、ありがとうございました。ご意見を参考にして進めていきたいと思えます。

以上で令和3年度 第3回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。お帰り際には、くれぐれも交通事故等に気をつけてお帰りくださるようお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

以上